



## ANEWAL Gallery インターン募集



特定非営利活動法人 ANEWALGallery は「視点の発信」と「人と人、人と場所を繋げる事」をテーマに、その活動の場所を自らのギャラリーに限定することなく街の様々な場所やそこに暮らす人々との対話の中から企画・行動し、社会とアート・デザインの関わり方・在り方を探り実践してゆく「外に出るギャラリー」を目指して活動しています。

現在、当団体の活動に共感し、インターンとして関わってくれる新たな仲間を求めています。拠点となる築130年の京町家で、メンバーや様々な協力者が、楽しみながら日々それぞれの活動に取り組んでいます。長期的で楽しいインターンチームが出来たらと思っています。皆様のご応募をお待ちしております。

### ANEWALGallery の活動

- ・アート、デザイン、文化を使ったまちづくり
- ・アーティスト支援
- ・地域社会支援
- ・ギャラリー運営、イベント企画
- ・グラフィック、WEB サイト、ノベルティなど各種デザイン制作
- ・外国人アーティストの地域での活動や生活のサポート などなど

過去の活動についてはこちらより→ <http://www.anewal.net/>

### 特にこんな人を募集します

- ・自分で考えること、感じることを大切にしている人
- ・商店街や地域のコミュニティ、まちづくり活動に興味がある人
- ・伝統産業、伝統芸能、京町家など京都の文化に興味のある人
- ・海外の人とのコミュニケーションに興味のある人
- ・アート、デザイン、広報、文章を書くことなど、表現の仕事に興味のある人
- ・イベント運営、ギャラリー運営に興味がある人

## 募集要項

- ・対象者：大学・大学院生、もしくは卒業後3年以内
- ・定員：数名
- ・雇用形態：インターン（ボランティアも随時募集中）
- ・勤務日：平日を中心に月1以上、可能な範囲内（面談にて決定）
- ・報酬：なし(事業によっては支給あり)
- ・採用決定：随時

ご連絡先 特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery 事務局（担当：重本）

メールもしくはお電話で、まずはどうぞ気軽にご連絡ください。

TEL:075-431-6469 MAIL:contact@anewal.net

※メールの場合は件名に「インターン募集について」。本文に「氏名」、「電話番号」、「ご所属など、簡単な自己紹介」をご記入いただきますようお願いいたします。

## 過去のインターン生よりメッセージ

### <2015年度インターン>

#### リサンネ・クライヤン (2015年当時・オランダ ライデン大学 同志社大学留学生)

伝統的な家での現代アートの可能性への関心で、アニュアルギャラリーの活動を知って、インターンシップに参画させていただきました。そこで、町家でのアート展覧会の美しさだけではなく、そこから生まれる人と人とのつながりも印象的でした。

「Kyoto Machiya AIR」で通訳をする機会にめぐまれ、参加アーティストと京都で出会った人の中で仲介する時、言語を越える芸術に対する共通する考えや気持ちで心が通い合うことに感動しました。

こういった異文化間交流の他に、展覧会の準備のお手伝い、記事の執筆、そして一年間の留学でできた思い出や繋がりを基に考えた自身の展覧会の企画まで、想像していたよりも多くの活動に参加でき、とても大切な経験になりました。



## <2016 年度インターン>

### 登坂文香 (2016 年当時・同志社大学大学院総合政策科学研究科博士前期課程 2 年)

私は大学院において、「アーティスト・イン・レジデンス」を研究する中で、実際にレジデンスプログラムを持つアニュアルと出会い、インターン生として関わることとなりました。

約 1 年間、レジデンスはもちろん、様々なイベントに関わることで、自身の研究における最大のテーマである、地域とアートの関わりを現場目線で学ぶことができました。また、アニュアルでは外国人芸術家から、昨年 11 月の「上京オープンウィーク」を通じて関わった行政の方々まで、幅広い人との出会いがありました。

アニュアルは、デザインや芸術のみならず、まちづくり、文化政策、様々な分野を学ぶ学生に開かれている場所だと思います。来年度からも、多様な学生が、またアニュアルで多くの学びと思い出を得ることができることを願っています。



### 澤山 歓子 (2016 年当時・京都市立大学環境デザイン学科卒業)

ANEWAL でのインターンシップ中に、「なんか最近楽しそうだね。」とよく言われました。町内会の運動会では、地域の方たちと一緒にハイタッチしたり。上京区で活動されている人たちと共に開催した「上京オープンウィーク」という企画では、みんなに伝わる伝え方や自分も楽しめる楽しみ方を知ったり。

こういったイベントを通して、いろいろな人たちと出会え、繋がりを感じ、自分も地域の一員なんだ、と改めて思いました。地域の一員だからこそ、いつか自分も何かしたいなあと密かに思っております。

もちろん楽しいだけじゃなくて、苦しくなったり改善することがあったときは ANEWAL の方いっぱい相談して、いっぱい甘えました。とても優しい方々です。これからも学んだことを、楽しみながら生かしていきます。





# ANEWAL Gallery

特定非営利活動法人 アニュアルギャラリー

## 外に出るギャラリー

WWW.ANEWAL.NET

ANEWAL Gallery は、アーティストやデザイナー・クリエイターと共に地域に眠る資源の発掘や新たな価値の創出を行い、それらの情報発信等の広報活動支援やプロデュースを通じ社会や地域の問題の解決に取り組み、地域の振興・発展に寄与します。

そしてそれらに際し、アーティストやデザイナーが地域社会で活動し人々と接する事で、芸術・デザイン・文化が地域の豊かな暮らしの糧となることを目的としています。

また、古くから人々は生活のなかに芸術・デザイン・文化活動を取り入れることで心や感性を豊かにし、地域社会のなかで人と人、人と場所との新たな出会いや発展を紡いできました。

アーティスト、デザイナー、カメラマン、アートディレクター、プログラマーを中心に構成された ANEWAL Gallery は、芸術やデザインによる社会貢献の在り方を模索し続けると共に、その実践を持って公共に益する活動を行っています。

## 主な活動実績

\*ギャラリー内での展示実績多数

- 2004 ・任意団体として活動開始。築130年の町家を改修、その場所を事務所としながら展覧会やイベントを企画・開催。
- 2005 ・全国町家再生交流会プレイベント「楽町楽家」の企画立案・運営に参画したのを皮切りに、以後、地域団体や行政と協同するなど様々なイベントを企画・開催。
- 2006 ・前年、全国町家再生交流会で企画した「都ライト」を単独開催（以後、毎年継続実施中）
- 2009 ・京都府庁旧本館を舞台としたアートイベント「ECHO TOUR(エコーツアー)」を京都府との連携事業で企画・実施。
- 2013 ・特定非営利活動法人格を取得。  
・'12まで京都府庁旧本館で開催してきた「ECHO TOUR」を刷新し、参加型アートイベント「Musee Acta」総合企画制作、実施。  
・公益財団法人細見美術館と共に「伊藤若冲作品を活用した地域振興事業」が文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館想像活動支援事業」に採択。
- 2014 ・アーティスト・イン・レジデンス“Kyoto Machiya AIR”実施。  
・右京区京北の地下道ペイント事業を京北商工会、地元中高生と共に実施。
- 2015 ・昨年に続きアーティスト・イン・レジデンス“Kyoto Machiya AIR”実施。  
・“上京 OPENWEEK”実施。
- 2016 ・アーティスト・イン・レジデンス“AN AIR”開始。

特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery

TEL:075-431-6469

MAIL:contact@anewal.net

FAX:075-950-3240

602-0059 京都市上京区実相院町156